

428

特500

172

県議戦を斯く闘へ

風早謙著

全国労働農大衆党支部発行

6.9.23 禁止

1



\*0008646000\*

0008646-000

特500-172

県議戦を斯く闘へ

風早謙・著

全国労働農大衆党支部

昭和6

ABI

この著作物は、著作権者不明のため、著作権法第67条の規定に基づき、平成12年3月...  
けで文化庁長官の裁定を受け使用するもの...

葉集一-260  
特 500-172

函	安寧
號	397
永久保存	

致行  
昭和十年九月十九日

送とミでか  
吳市から候補者を立て、徹底的に戦ふことが出来た。切迫した今日、無茶苦茶に急いで出すことにした。内容も三つに分けたので、大した内容も三つに分けても農民、無産市民諸君がこれば、下さった同志諸君に心から感謝

全国労農大衆党吳支部事務所にて

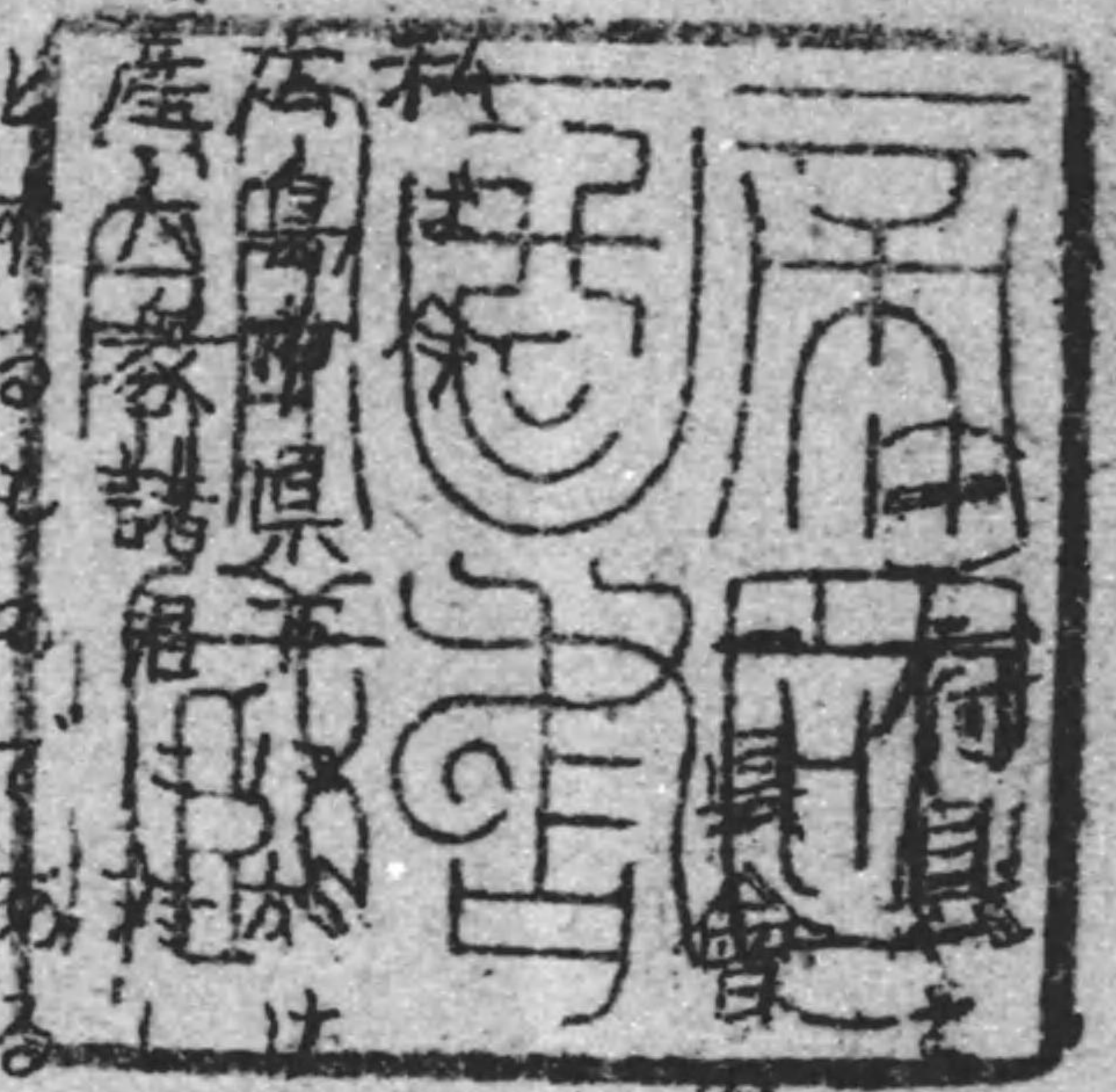


ほしかき

風早 謙

- 一 府県と無産階級
- 二 府県と無産階級の重要性
- 三 府県と無産階級の重要性
- 四 府県と無産階級の重要性
- 五 府県と無産階級の重要性
- 六 府県と無産階級の重要性
- 七 府県と無産階級の重要性
- 八 府県と無産階級の重要性
- 九 府県と無産階級の重要性
- 十 府県と無産階級の重要性

# 縣議戦を斯く闘へ



無産階級の重要性

無産階級の重要性

現社会に行はれてある政治の内面を少しでも覗いて見れば、其處にはすぐ今の政治が誰のためか、労働者具合に成されてあるか、判断するであらう。労働者

特に、奥地方の労働者、農民、

農民、無産大衆の利益のためにか、將又、資本家、地主の利益のためにか。

政治の如き興味本位に於ては、無産大衆の多くが政治とは内閣の如き興味本位に於ては、議院議員の選挙であるかの如く考へる。如きは代議士選挙に於ては、選挙の如き興味本位に於ては、議院議員の選挙であるかの如く考へる。如きは代議士選挙に於ては、選挙の如き興味本位に於ては、議院議員の選挙であるかの如く考へる。

資本家地主階級と無産階級の政治的無関心であつた面において、驚くべき搾取と圧迫とが加へられておたのである。

年度	指数	一戸当	一人当
明治二十四年	一〇〇	八二六三	一五二一
昭和四年	一四一〇	七五六七	一五二二

明治三十四年 指数 一〇〇 三、八四九 七五〇

昭和四年 指数 二二六〇 五、六五八 一、三九七

民政黨と言はず、政友会と言はず（民政、政友共に同じ穴のムシで資本家地主の全先である）。選挙ある度にア政治家共は今日まで機会ある度に、選挙ある度に、口を開く度に、国民の負擔軽減を叫んで来たが、政府当局自ら発表した右の統計数字が示す如く、事實に於ては彼等が大衆に誓約した言葉とは全然反対に、税金一人当負擔額一四五十一錢一厘がその約十倍である。

る十五円二十銭四厘に、地方税に於ては、<sup>四</sup>タダの七十  
 五銭から十一円三十大銭七厘といふ実に百五十倍か  
 増大して無産大衆をより苦しめてゐることをハツキ  
 リと曝露してゐるのだ。  
 失業問題を見過ごさうである。民政党、政友会等々  
 のブルジョア議員並に政府当局の才歴及は国会で、県  
 會で、市町村會で一枚看板の如く、失業救済々々々  
 と声高々と絶叫して来たのであるが、彼奴等の叫ぶた  
 業救済とは失業救済でも何でもないのであつて、その  
 本質正体は、産業合理化、財政整理といふ名目の下に  
 給料値下げをやつたり、労働者を減首してその日その  
 日のメシ飯をすら喰ふことの出来ない失業者を増大  
 し、今日では二百万人を突破せんとする失業群を製造  
 することであつたのだ。どんな無智な血のめぐりの世

い労働者でもメシ飯の喰えない人間を造ることが失業救  
 済だちんて考へる様な馬鹿はいないだらう。だが現代  
 のブルジョア政治家達はこの判り切つた矛盾を厚顔し  
 く又大衆を前にして平然と豪語し尚大衆を欺瞞せんと  
 する勇敢さを持つてゐるのだからお話にならなう。  
 更に他の方面から地方議會の内面を覗いて見よう。  
 昭和四年度予算による道府県歳出

教育費	一、二七九、二四三
土木費	一、三九九、三七二
衛生及病院費	一、〇五〇、七四四
勸業費	五三六、三三八
社会事業費	三五〇、一三〇
警祭費	八一、一五〇、二〇六
道府県更置費	一八、二七〇、四一六

道府県債	四〇七三〇八四
道府県費取扱費	八三三八七六八
其の他諸費	一四一八〇七
計	四八一三三三五七
昭和六年度東京府歳出經常部予算	一五八千四
会議費	一〇三三
県職員費	一八七二五
警察費	四七
警察廳舎修繕費	一三〇三
土木費	四五四五
教育費	一四六
衛生及病院費	四三四
社会事業費	
都市計画費	

都市計画費	一八五
土地整理費	三三
府費取扱費	八五六
雑出	一一二
府県統計費	一〇
地方奨励費	一〇
經常部歳出計	二九、〇〇一

前者に於て二不費に次いで巨額は警察費であり、後者に於ては歳出中警察費の最高峰に立つてゐる時に社会事業費が如何なる割合であるかが目立つてゐる。又巨額の歳出の二割七分一、九二七年一が軍事費である。此處に吾々は地方政治の重大使命が、即ち現行資本主義社会秩序維持にあることを知

るのである。県市町村に於てその大部分を占めてある  
労働者、農民は前述した如き中央並に地方税の増大に  
よつて直接、間接に七種の深淵に投げ込まれ、ある  
のであるが、吾々労働階級の窮乏の中から捲き上げた  
税金は資本家地主共の利益擁護のために必須の県政の  
中樞機軸たるX X Xに充当されてゐることを無産大衆  
はハッキリと知つて置かねばならぬ。  
教育費、土木費に於ても同じである。教育費は中等  
学校實業学校まで、文部省の直轄する専断学校に比較  
すれば大衆により接近してゐるけれども、支配階級本位  
の反動的な青年訓練所の維持費である。土木費は道路  
の反動的な修繕設置の費用で地方民衆と密接な關係を持  
つが、その本質は地主や有志の腹を肥やすためのものや

かし賈たのだ。  
これら事実からして、吾々は現行政治が労働者  
農民、小商人等々の利益のためになされてゐるもので  
ないといふこと、又将来に於ても存さるべ性質のもの  
でないといふこと、又将来に於ても存さるべ性質のもの  
の社会秩序の維持と彼奴等の利益とのため、如何に多  
大な負担を吾々無産者がさされてゐるかと思ふとき、地  
方府県会に於ける闘争は吾々無産者の日常利益のため  
にも、又労働者、農民解放の終極目的達成のためには  
その過程的な部分的の闘争として実に重要性を持つ  
のであることをハッキリと知らねばならぬ。県会議  
選挙闘争は吾々の政治闘争の凡てではないけれど  
選挙の結果は今後無産階級の日常生活に重大に  
影響を及ぼすものである。故に、労働

農民、無産大衆は各自自分労働者であるか資本家であるか、農民であるか地主であるか、無産者であるか金持であるか、高い税金を捲き上げられて苦しむのが好きかそれとも税金を取り立てられないのが良いかを各自の日常生活にひき比べてトツクと考へ、買収、情実又は觀劇的気分支配されることなく、確乎たる信念の下に選挙戦場に向ふことが絶体必要である。

資本主義 二府県と無産階級

資本主義社会下に於て、政府当局並に民政、政友の諸君が国民の負担軽減、失業救済、景気回復等を叫んであるとき、他方に於ては不景気は益々深刻化して行き、労働者、農民、無産大衆の生活は日一日と苦しむなつて行つてゐる。私は全無産階級の生活状態を

考へて見よう、先づ労働者の生活はどうか、煤煙とゴミと油が一杯の工場の中、長い時間、汗ダクダクで働かされてゐる。然かもその労働の結果として貰ひ受ける賃金は話にならない。鉄板が墜ちて来て五尺の体がヤチンコにされるか、解つたものでは無い。つ機械に捲き込まれて腕を毛毳取られるか、それか、知らない。先うした不安が常に工場労働者には籠巻ひかつてゐるのだ。時に資本家といふ奴は完全に施療さしてくられるだらうか、否々、私達は労働者かハサまれたりハネられたり





ぐ一枚の着物さへ買へない仕末だ

無産市民の生活はどうか

高い税金とべラボウな家賃、高い物価のためには年中苦しみ抜かされてある。かく吾々労働者、農民、無産市民の生活はどうかを思つて、人向らしい生活といつては見当らない。実に所話にたらない状態である。金無産者の生活は既に述べた如く極度に窮乏してゐるが、それは何れも労働者が勤かたか、資本家、地主等が彼等の腹と倉庫とを肥大するたため、無産労働者農民階級を搾り上げたからである。無産労働者は資本家地主等の搾取と庄制から逃れようとするが、無産階級は労働組合には、無産の自衛利益を争うたために、都倉では労働組合

合、借家へ組合、俸給生活者組合を、農村では農民組合を創設して資本家地主の暴虐を搾取に對抗してゐる。先棒等と無産者の正しい主張のたぐひに血みどろの戦ひを続けてゐるのだ。労働争議、小作争議、借家争議は、俺達が無産者の永い間彼等が不当の庄制と搾取の下に、苦に忍び苦を重ね、飢死の瀬戸際まで押しつけられて来た俺達の決死的の正しい要求なのである。また俺達はこの正しい要求を掲げて、賃銀値上げには、解雇賃銀値下げ絶対反対に、小作料減額に、家賃下げに、土地取上げ反対に、各所に於て、争議を起して戦つてゐるのだ。この正しい俺達の戦ひの前に何が現はれてく

県市町村に於ける僱傭の経験は、労働者、農民、無  
 産市民が資本家地主の搾取から逃れ、人間らしい生活  
 を営むこととするための行動に對してはキツト×××と×  
 ×××と×××とを見舞ふこと、これを教えるだけだつた。  
 県市町村当局の官吏は常にぐるに反して、昔々に於ては  
 て直接、間接に陰險露骨に××××××をなした。これは  
 労働者の諸議をなして労働争議、無産運動の息口をし  
 るに非ず。労働者が生き残るために必然的に起すストライ  
 キに對しては、凡ゆる反動の役割をなしてゐる。  
 過般の工廠の首切り、互電のストライキの際、県市  
 当局は労働者のために何をなしたか、只海軍当局、支  
 配階級の鼻イキを短く、争議を鎮圧するたために、即ち

労働者を失せさせるために血まなこになつたに過ぎない  
 かつた。殊に失業反対、無産者の生計維持のための果敢  
 に闘ひつゝある各々の同志に對しては極端なる武裝的  
 釋置までせしめてはなかりか。  
 各々は正に県市町村が資本家地主の味方であつて、各  
 々無産者のためにあるものでないことを知つた。  
 何故であるか、各々が府県制の法律が何者の手  
 にあつて作られたかを知れば、それは立所に判然する。  
 各々無産者は法律を作るに當つて、少しでも参與し  
 たであらうか。断じて否である。  
 各々無産者が何れも知らないうちに、資本家地主等職の代  
 表者等は議會に集つて彼等が勝手に作つたのだ。資本  
 家地主は各々無産者を搾り取ることに依つてのみ彼  
 奴等の腹を肥すだけが出来る人間だから、彼奴等のみ

加三律を作つたとしてれば、労働者の利益を保護するに必要  
なものを作りこむべき、無産者の利益を保護するものは総  
体に作るものではない。  
知事の原素執行権、召集権、内務大臣の知事の監督  
権、任命権、又は県庁の解散権等皆んな重要な所は中  
央政府並に天降り知事が握つてゐるではないか。  
又総体的に貴族院、衆議院、府県知事、市町  
村当局といふ政治組織を見るとき、吾々は現行府県制  
が無産者の利益の擁護伸張のために行はれてゐるもの  
でないことを知らねばならぬ。現行府県制は労働者、  
農民、無産大衆を擁護するためのみならず重要な資本家地主の  
動道具に過ぎないのだ。  
以上の事によつて、吾々の県政への闘争は必然的に  
中央の資本家地主の専制政治への闘争へと向はねば駄  
目。

目だ、  
即ち、現在政治的の支配権力を握つてゐる資本家地  
主階級へ対する飽くなく闘争を必要とする  
府県會の目も議員會も無産者から出し得たとして  
その府県會が資本家地主の搾取機関である以上吾々  
の要求は何一つ答はれぬ。農民、無産市民は現在の府県制に  
對してその制度の廢止を目標として進まねばならぬ。  
そのための吾々のスロガンは  
資本家地主の府を倒せ！！  
地主の県會を倒せ！！  
労働者農民の政を作れ！！  
次に県制の實際を見よう。

二、眞實税はとうなつるるが  
 二十  
 吾々には、眞實税はとうなつるるが  
 必要は地方機関であることは既に知つた  
 累してど人な具合に無産者を搾取、正例と  
 渠財政の正体もさう見下ろす。  
 土地の二つの国税は當て資本家、地主  
 止る叫ばれたことがあるが、大地主並に中流階級以上  
 の商工業者の負担してあるこの税金が廢止されたら、  
 その結果として不足国税はキツト無産者に振り向け  
 られねばならぬ。坐して喰ふ金持階級に課するこの種  
 の税の賦課率はウーンと引上げて大衆税を軽減しなく  
 てはならぬ。  
 資本家、地主から税金はウーンと取れた

口所得税の課率を上げろ！  
 所得税は月収百円(眞實的には百五十円以上)の収入者  
 への課税であるから、これも重課すれば大衆の税負担  
 は当然軽くなるわけだ。  
 小家屋税と借家人税を撤廃せよ！  
 家屋税は一般農民と借家人を苦しめる悪税だ。そ  
 れに農家の貧乏百姓さん達に家はボロボロで、大  
 めに農村の貧乏百姓さん達に家はボロボロで、大  
 屋が大部分で、地主等やうに年貢を取込むための土  
 土蔵の家屋ではないのだから、建坪数によつて税金を  
 かけられた日には堪ったものでない。都会の借家人  
 たちも税金を先家主が拂つてはみるが、強欲な地主は  
 借家人へ直接に、家屋税がいくらだから家賃を値上げ  
 二十一

する。とやうてくるのだ。これではやり切れなものでない。地方税法第十一條には、貸賃額一定額以下の家屋には、家屋税をかけなくても良いと規定してあるでは

二 特別地租を廃止しろ！

特別地租は、国税地租を免除された所有田地の価額の総額二百円未満即ち四五反の土地主、自作農のかげられ、無条件で税金である。今日自作農の維持創設を唱える國家が、府県をして、かゝる自作農イジメの悪税を課せしめてあることは、大衆を如何に欺弄してあるのかを、信ら曝露してあるものである。

三 小商工業業者の営業税を免税せよ！

府県業者税は、国税業者税の免除者たる年利控金四百円未満の個人業者並に、特種な理髪湯屋業者から

搾り取る税金だ。これ等小市民層への負担として、何れも大きい税金に對しては、徹底的に反対しなくてはならぬ。だが、営業税を課せられるものの中では、ダンヌホール、麻遊技場、藝妓置屋等には、重課すべきだ。

四 雑種税を改廢しろ！

春、秋、雑種税は、実に二つの税目。しかし、これは、いかにして出たものかと思はれる程。いろいろ、その中には、累進率を高く、けられ、ある税金である。その中には、累進率を高く、奴、整理すべき奴、全然撤廢すべき奴等種々雑多なものがあつた。

五 金庫税、電柱税、時職税、不動産取得税

の税金は、大金持共にかける税金だから、ウンスケ値上げで、下り、のたのた、中では、電柱税の如きは、電力会社、電燈会社、電車軌道会社等の大資本家が、電燈使用者、

電車乗客の大部分を占めてゐる無産者を搾取して、ウ  
 ンスケ儲けるための営利上の電柱に於ける税金である  
 で、無産者が声を揃えて彼奴等に税金をウンスと掛ける  
 と要求しても、県当局、県会はこの無産者の当然の要  
 求に中央の應じたい。それは、昔て香川県に於て一度、  
 この問題が問題とされたとき僅かな寄附金で課税を延  
 期したことから考へて、県当局並に県会がこれ等大  
 資本家の願使の下に動く無産者のメであるからである  
 労働者、農民、無産市民は電燈料値下運動を大衆的に  
 捲き起すと同時にこの電柱税の課税率を高めることを  
 根強く要求すべきである。  
 雑種税の中で何と言つても最も大きい財源は車税で  
 あるが、車税は自轉車税、リアカー税、荷車税、荷馬  
 車税、……等々で、県収入の重なるものが、これが

殆んど、無産者が負担させられてゐるのである。百姓  
 は何れも営利を目的に自轉車に乗つてゐるのではない。  
 仲仕連中にとつて荷馬車や牛馬は贅沢や物好きで所有  
 されてゐるのではない。それがなかつたら一日の税  
 シが喰へないのだ。それでも七円から十円近くの税  
 金が、つてくる。惨めな遊藝人、藝者にも課税され  
 て居り、仲居、女給にも課税される。益々貧窮化して行く無  
 働けど働けど暮し樂にならず、益々貧窮化して行く無  
 産階級ありとあらゆる名目の下に殆んど吸ひ立て  
 だけは吸ひ取るのだと云はぬばかりに税を取り立て  
 る。の、現行資本家地主本位の県会はどこから見ても  
 無茶と言はざるを得ない。それ、整理  
 以上の如く県税は課税されてゐるが、それ、整理  
 され撤廃さるべきである





彼奴等ブルジョアには大した苦痛では無いのだから  
出来得る限り高率累進で賦課すべきだ。

**無産者本位の社会施設をやれ！**

府県に於ける無産者から搾り取つた金が如何に有産者  
本位の施設に使はれてゐるかには既に述べたが、吾等  
は有産者本位の社会施設を排撃し、無産者本位の社会  
施設を資本家地主に重課する事によつて奪ひ取らね  
ばならぬ。

- イ 夜間無料中学校、女学校、実業学校を掲げ！
- ロ 無料実費診療所、産院を掲げせよ！
- ハ 帯農図書館を開設しろ！
- ニ 日常生活必需品は公営で実費を以て供給せよ！
- 水道、瓦斯、電燈、肥料、農具、種子等

土木事業は一部権力階級の腹肥やしのためには弄断  
されること存ん、大衆の利益のため公正にやれ！  
ト 青年訓練指導員、在郷軍人団、男女青年団等に対  
する補助金絶体反対！  
立憲無産者のために！

**税制と如何に南無か**

の税制、財政の改革し、有産者本位や党  
の土木事業、社会施設と戦つて、労働者  
市民の利益を中心にして、戦つて、労働者  
の利益をなさんとして、先にはこれを阻  
害する制度があるのだ。無産者は以上の要求を貫  
行すればこの制度と戦ふことなしには完全な  
ることは絶体に出末ぬ



府県参事会は知事と議長とする府県会の左すべき事  
項を代行する機関である。か不思議なことは、その議  
事は常に府県民衆の生命に亙る重大な問題なるに拘  
らず、少数参事会員によつて白晝公然でなく傍聴禁止  
の秘密会であることだ。吾等はかゝる四疊半式暗黒政  
治には絶体反対だ。

二県会も公南せよ！  
府県会と府県民衆の間の会議である。だからこれ  
も公開して吾等民衆のことも如何に論議決定されて  
るか大衆を知るべきである。だが實際は知事の独断  
や三四議員の秘密会で決選し、可決の時公南を禁止  
されてある有様だ。かくる暗室密議のうちに公南を  
政治にこそ多くの毒素が醸成される。だから公南絶体  
水知事の原案執行権を廢止せよ！

府県会に無産者側の議員が多数で、無産者本位の社  
会施設例へば失業救済、貧窮児童給食、無料診療所等  
の設備を議決したとして、又原案が多数によつて否  
決された場合でも知事の原案執行権で頑張られたら  
それまでだ。かうなれば県会があつてもなくとも良  
質となるのだ。内務大臣が県予算認可権を握つて  
現存県会はまるで籠の中の小鳥の如き自由しか存  
だ。自治とは民衆欺瞞のための名目で、その実質は反  
動専制政治に過ぎないのだ。県会が無産者のために何  
か公共事業をやらんとする。金がないう。県債を募つて  
それではやらうと決めても中央政府の許可を得なければ  
出来ないと何と決めても中央自治であること。それ  
はわれ等の思ひの通るやうな府県会をおめするならば  
これが絶体廢止を要求して叩けぬば駄目だ。

へ府県会の発案権、議決権をよこせ！

府県会には色々な議案を審議し決議するが、それは当  
番から出される原案のみで、無産者のために家屋税を  
廃止しろ！ 営業税を廃止しろ！ 学校金を夜間無料  
解放しろ！ を要求し、又かくの如き案を出さうとし  
ても殆んど出せない。又当局提出の原案に大修正を加  
へて議決しては知事が頑強ればそれか許されなくなる  
ことがあるのだ。われ等にとつて発案権、議決権は絶  
体必要だ。

ト府県会の召集権を議員にも與へろ！

府県会の召集権は知事の独占となつてゐる。議員全  
部が大衆のため必要に迫られて今議を要求しても、知  
事が固き入れなければ聞けなない。よし聞いたとしても  
臨時議会は七日と限定され、一年一度の通常議会はし

てもその会期は三十日以内と限られてゐる。無産者の  
生活権防衛のためには完全なる自治の確立のためには  
府県会召集権を大衆の手に握るといふことは必要だ。  
官僚知事がそれを独占してゐることは現行府県制が中  
央及動專制の動臭であることを裏書するものだ。

子内務大臣から府県会解散権を取り上げろ！

府県会には府県民大衆の利害の總意を反映さすために、  
大衆自らが発議したものだ。それ故に、大衆に依つて  
選挙された府県会の解散権は当然大衆總意の一般投票  
によるべきだ。でなければ地方自治はこれで完全に叩  
きつぶされて了ふのだ。

リ内務大臣の府県監督権を廃止しろ！

府県制第百二十七條  
府県の行政は内務

内務大臣は府県の予算中不相当と認むるものあり  
るときは、之を削減すること得

現社会に於ける内務大臣は資本家地主階級の代表者たる官僚に過ぎない。府県民の多数を占める労働者農民、無産市民の利益は必ず資本家地主の利得の上には面白くないだらう。そのために多数府県民大衆の生活に重大な関係のある予算が一官僚内相の一方的立場のみがら不相当と認定しただけで削減されては、やり切れたものでない。

又供託金停止選挙運動の手渉反対！  
立候補すれば二百圓の供託金を取られる。無産者にとつては實に大金なうだ。資本家地主はこれによつて無産の地方議会への進出を妨害せんとしてゐるのだ。ル予備費の警察費用絶体反対！

東京府の予算は三十三萬圓の警視廳増徴費が計上され、千葉県の構想は、九千五百圓を予算として、これに昭和六年度予算。これが廢止に請が異議を挟むものがあらう。府県が警察權を握つてゐる以上無産者は機密費の削減のみならず府県警察部のメメと決定的に南早しなればならぬ。

### 四、県議選を斯く闘へ

資本家地主の搾取の道具に完全になり終つてゐる府県と如何に戦へば労働者農民は解放されるか。南早の目標を單に県政のみならず、県会を呑みだすに取らなければとて駄目だ。何故なれば、既に連べた如く、府県制が資本家地主階級の支配下にあつて、

吾々労働無産大衆への搾取の道具である以上、吾々無産者の解放は当然、必然的に、府県の上層階級を資本家地主の力を打倒し、資本主義社会組織をメキメキと依つて現行府県制の廢止へと向はねばならぬからである。然れども、働く吾々無産者本位の政府の樹立は吾々労働無産者の力に依つて達成されるのである。

それは勿論樂なことでない。困難なことである。だが、働けどく、賃棒と庄迫に悩まされる吾々無産者には、この道を行かなければ飢死するより外はない。これなら一体吾々はどうかしたらよいのか？ 飢死か！ 然らずんば南無か！ 此の急迫した社会状態の下に、のんきに情實を買収せしめ、資本家地主等の欺瞞に乗せられ、此の、資本家無産者

の敵の勢力を増大させ、たまたまに排撃拂去かへ向ふことには絶対に尙遠いのである。吾々無産者は自ら自力を増大するためには吾々労働者農民の組織を強く、大きくするより外に道はないのだ。

労働者は資本家に、農民は地主に、借家人は家主に、それら一般無産大衆は借金の支拂猶予等の問題をヒツヒツと携げてブツブツつかるのだ。無論かうした抗争は一人や二人でやるのでは全然無価値である。團結の力に依らざしてこの目的の貫徹は期し得られぬ。このことは言を俤たない。そうならば勿論、資本家地主並に官憲の庄迫は吾々に対して、ドンドンドン加つてくるであらう。又彼奴等は

在郷軍人、男女青年会、青年訓練所を利用して吾々に  
向つてくると共に、学向や宗教の力で吾々が莫本家地主  
と申ふことが、吾々の生活防衛のために「ホト」に  
悪い危険なものは、様には口説いてジーンワリとゴマ化しにか  
かつて来るでならう。

だが、無産者はこれ等の宣伝、術策に陥つてはいけな  
い。

多数の力、団結の力、  
この力こそ吾々の要求をおし通すものであり、無産者  
の生活を樂にさせるための唯一の武器であることもあは  
ハッキリと知つて置かねばならぬ。  
労働運動、農民運動に参加した者は、このことはイロ  
ハのイの字だ。  
で、農議戦に對する申すの目標は、都令では労働組合、

借家組合、農材では農民組合を組織し、その組織を  
グングンと大きく強くするこゝでなくてはならぬ。  
又一方、政治革新同盟、悪税撤廃期成同盟等の組織  
を作り、労働組合、農民組合とシツカリ結び付けて資  
本家地主と当局に對して根強くブツかつて行くことだ。  
現在、莫本家地主の政府は吾々のこの運動に對して、  
傳説の注意、中止を以て彈圧し、検束、拘留、投獄で  
南士を奪ひ、吾々に襲ひか、うてゐる。  
か、この事案こそ吾々に何を教へるものであるか。  
吾々にマザマザの力が、団結の力がなにか、  
を知らずには、そこに又無産者自身は採取に對して無  
意識的の幫助があつたこと知らずには、  
と、支配階級の迫害に對して、組織して、大衆的反抗行動を以て





戦争のためには利益するものは何時でも資本家階級で  
 戦場を死する者は常に無産階級である。  
 吾に無産者は資本家地主階級の利益のための戦争に  
 は絶体反対すべしだ。  
 無産者は因税、地方税の今後指は視せよ。  
 無産者は労働者、農民の府を作れぬスローガンと  
 共に帝国主義戦争絶体反対の叫びを叫び、資本家地主と  
 闘はねばならぬ。

四十四

帝国主義戦争絶体反対！

昭和六年九月二十日 印刷  
昭和六年九月二十日 發行

定價十元

著者 風 早 謙

不許複製

發行兼 印刷者 吳市中通七百三十四 風 早 謙

吳市元野分六番地

發行所 全國勞農大眾黨吳支部